

島根県立矢上高等学校②

プロジェクト学習水環境グループ

きれいな川を取り戻す～米ぬかが邑南町を救う～

川の水の利用を妨げている原因の一つが生活排水に含まれる石油系の界面活性剤にあると考え、これを天然成分(米ぬか)に変えることが必要と考える。洗濯機に入れて使えるようにぬか袋を作ったり、つけおき洗いをしてみたり試している。



四国
7団体

徳島県立徳島商業高等学校

校内模擬会社Comcom

私たちが守る未来～レジ袋サクゲン作戦を通して～

家庭にある再利用可能な紙袋を回収し、レジ袋の代わりに再利用してもらいレジ袋の使用量を減らす作戦。校内、イベント、スーパーと連携し実施。「レジ袋を削減すること」で、資源を守り、意識を変えることによって地球を少しでも守る。



徳島文理高等学校

食品ロス研究班

“MOTTAINAI”を愛言葉に

徳島文理中高校、計325名に食品ロスのアンケートを実施、「MOTTAINAI」は愛言葉 SONGも作成した。食品ロス削減のキャッチコピーを手書きした団扇を作成し、徳島阿波踊り会館で配布した。食品ロス削減全国大会徳島大会プレイベントに参加した。



徳島県立阿南光高校&小松島西高校勝浦校&小松島高校&徳島北高校&新野高校

緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム

資源循環型肥料の開発から東京五輪・パラリンピックへ、そして東日本震災復興へと続く環境社会イノベーションの取り組み

「刈草」をイノベーションした資源循環型肥料「もったいない2号」を開発。東京オリンピック・パラリンピックでの暑さ対策での木陰プロジェクトの樹木の用土に活用される。



香川県立多度津高等学校

建築科&写真部

地域と繋がる環境活動

地域社会との交流、環境活動を積極的に行っている。環境イベントへの参加が増え大きな成果となっている。活動は、①かまぼこ板ものづくり、②グリーンカーテンが交流の場、③古民家再生による地域の活性化、④地元の美味しい食材が缶詰に。



済美高等学校

Livth

Eat Local ～学びの発信とエシカル消費の普及～

活動の目的は、多様な人との「地産地消の推進」と「エシカル消費の普及」。主な活動は、①里山のお米作りプロジェクト、②トマトの栽培と野菜料理教室、③上灘漁協とのコラボ ～ちりめんじゃこを使った商品開発～、④鶏卵の生産現場を学ぶ。



愛媛県立上浮穴高等学校

カホンプロジェクトチーム

森林の想いを音色にのせて ～カホンを通じた森林環境教育の実践とドイツに学ぶ持続可能な森林管理～

持続可能な森林管理技術の確立、木材利用の推進と啓発、SDGs達成の取組が活動の3本柱。カホンを用いた森林環境教育の実践。環境に対する影響の評価として、現在までに作成したカホン1,291個でレジ袋45万枚分の炭素を固定した。



高知県立伊野商業高等学校

和紙研究会

土佐和紙で世界を変える！

地域の宝である土佐和紙の魅力を知り、製作現場に伺い、新たな商品開発活動に取組む。いの町[kami祭]で、街頭調査や和紙のアピール、自分たちの製品販売を実施。「四国観光トロッコ列車 幕末維新号」では記念乗車証3,000枚を渡した。



九州・沖縄
26団体

福岡県立直方高等学校

自然科学同好会

ウチワゼニクサの駆除に向けた生態調査

北アメリカ原産の外来植物・ウチワゼニクサの基本的な繁殖特性の調査および新たな駆除方法の提案をするため、学校内の有志、遠賀川水辺館のスタッフの方、国土交通省の方とともに研究をしている。最終的には完全駆除を目指す。



福岡県立嘉穂総合高等学校

全国初、学校で生徒がドローンの免許取得ができ、現在地元のJAと連携しドローンの農業分野の活用を行っている。ごみの分別にも力を入れており、校内美化コンクールや地域清掃活動をしている。更に地元桂川町活性化と被災地朝倉市の支援をしている。

